



もくじ

- (1) 剪定班研修会の開催他
- (2) 職場訪問、脳トレ
- (3) 全国シルバー事故状況
- (4) 文芸、その他情報

会員数 1,063 人
 男性 721 人
 女性 342 人
 (8月20日現在)



発行(公社) 一宮市シルバー人材センター
 ☎491-0045 一宮市音羽1-5-17(ききょう会館3階)
 編集 広報委員会会報班 TEL(0586)71-0105 FAX(0586)73-4367

剪定班研修会の開催

去る8月4日(月)に令和7年度剪定班研修会が一宮市民会館で開催されました。

参加者数は剪定会員31名で、主に剪定作業の技術的な内容や、造園の様式等の内容について、(株)野田造園代表取締役会長の野田八郎様に講話をしていただきました。

研修会では参加の剪定会員から発注者から剪定時期に適さない樹木の剪定を依頼されたときの対応方法や、松の剪定方法についての質問もあり、活発な様子がみられました。

繁忙期(主に10月から12月まで)に入る前に、剪定や造園の知識を深めることのできる、とても貴重な機会となりました。

なお、10月1日から12月31日まで「剪定作業中の事故防止キャンペーン」が始まります。研修の内容を活かして、キャンペーン期間中の事故ゼロを目指しましょう。



剪定作業中の事故防止キャンペーン

10月1日から12月31日の間は剪定作業中の事故防止キャンペーン期間です。

キャンペーン期間中は剪定作業中の転落・転倒・落下による事故に、より一層注意するようにしましょう。

参考までに、昨年度に当センターで発生した剪定中の事故を紹介します。

- ・剪定作業中、脚立の四段目から転落し、腰を強打した。救急車で搬送され、腰椎骨折と診断され、1週間の入院を要した。
- ・剪定作業中、脚立のチェーンが外れて落下し、右足くるぶしを強打し、1か月以上の通院となった。
- ・藤棚を剪定中、切断した枝が跳ねて右目を負傷した。事故発生時には右目が見えなくなり、失明のおそれもあったが、視力は無事回復しました。

今年度剪定中の事故は発生していません。このまま事故ゼロを維持しましょう。

安全は、シルバー人材センターに携わる全ての人たちで確保しましょう！
 (センター安全就業推進員からのコメント)



安全は 急ぐな あせるな 気を抜くな
安心・安全・親切・丁寧

全国シルバーのスローガン
一宮市シルバー人材センター基本方針

私の職場 (本町ふれあい広場)

長い間お休みしていましたが、久しぶりに会員さんが就業されている職場訪問を行いました。今回の訪問先は、皆さんが良くご存じの「本町ふれあい広場」です。

現在の広場は、シルバー会員及び市民の交流の場として、令和6年6月3日に新店舗としてオープンしました。祝日、年末年始を除く月曜日～金曜日 10:00～15:00 の営業です。

シルバー会員が心を込めて作製した手作り小物(財布、バッグ、衣類など)や新鮮野菜・果物を安価で販売しています。また、絵画、パソコン、書、囲碁などの各種教室も開催しています。

広場受付の後藤安徳さんにお話を聞きました。「私は、この広場がリニューアルオープンしてから現在まで就業していますが、販売した野菜・小物等の計上ミスをしないう、また不具合品等の返品がスムーズに行われるよう毎日気を付けています。お客さんと楽しく接することが何よりの楽しみです。一日でも長く元気で就業出来ることを願っております」
皆さんも是非広場にお越しください。何か

良いことが起きるかもしれませんよ。

これから皆さんの職場にも取材に参りますのでよろしくお願ひします。



広場で就業中の後藤安徳さん



店舗前での新鮮野菜等の販売

キリトリ ✕

脳トレコーナー

すべて記入してください

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | | | | | | 5 | | |
| | | | | 5 | | 6 | 4 | 9 |
| | | | | 1 | 3 | 8 | □ | |
| | 9 | 6 | 7 | | | | 1 | 8 |
| 1 | 5 | | 8 | 3 | | | | 6 |
| | | | | □ | | 7 | | 3 |
| | □ | | | 7 | | | 6 | 2 |
| | | | 4 | | | 1 | 8 | 5 |
| | 2 | | 5 | | | | | |

縦横列、太線で囲んだ3×3のブロックに、1～9の数字を重複しないように入れ、3つの口の枠に入る数字の合計を教えてください。回答は9月24日(水)までに本・支部、又は、ふれあい広場へ下記事項を記入の上ご提出ください。正解者のうち10名に粗品を進呈。当選者には通知発送。

スマイル登録の方は本部・支部に用紙があります。

□ + □ + □

答

会員番号

会員氏名

大丈夫 その慢心が 命取り

全国シルバー安全就業スローガン

全国シルバー・愛知県シルバーからの重篤事故報告

この夏も、全国的に真夏日や猛暑日の日が増えています。

また、全国的に平均気温が高く、猛暑となりました。この暑さにより熱中症はもちろんのこと、暑さによる体力低下や注意力の低下により、事故が発生しやすくなっています。

この時期になっても本格的な暑さは過ぎ去ったとは言い難く、今一度熱中症や途上の交通事故の対策を確認し、事故を未然に防ぎましょう。

令和6年度重篤事故の分析

◇就業中の事故

就業中の事故の5割が「墜落・転落」であり、毎年度高い割合で推移しています。中でも樹木剪定、樹木伐採等における墜落・転落事故が多く、保護帽、墜落用制止用器具(安全带)を着用していれば大きな事故にならなかったのではないかと悔やまれますので、必ず着用するようにしてください。

6年度は草刈り作業中や清掃作業中に熱中症での死亡事故が3件起きています。

こまめな水分や塩分補給、休憩、比較的涼しい午前中や複数で作業を行うなど対策を徹底し、熱中症特別警戒アラートの発令など安全が確保できない場合は、作業をしないなど自身の体のことを考えましょう。

◇就業途上の事故について

就業途上の事故は自転車の絡む事故が7割を占めました。事故の中には必ずしも本人に過失責任があるとは言えない事故もありますが、自転車は軽車両です。自転車による事故の多くは左側通行、一時停止を守ることにより防げるという調査結果もありますので、交通ルールを守ることはもちろん、自身の体力を過信することなく、周りに十二分に注意を払ってください。



その他重篤事故例

1. 雨天時、原付バイクで通勤中に前カゴの荷物が飛び出しそうになり、それを左手で抑えた拍子に濡れた路面に滑り転倒。右大腿骨遠位端骨折。
2. 植木作業中に転倒し、園芸用支柱が左目に刺さり眼球を負傷。頭部穿通性外傷、顔面創傷。外傷性脳腫瘍。
3. 公園の雑木伐採中、伐採した木が隣接する木の枝にあたり、その枝が折れ落下し、その枝付近で作業をしていた被災者の頭を直撃した。急性硬膜下血腫。

こうした悲しい事故を起こさないために、引き続き就業時における作業別就業基準の遵守や、日常的な危険予知活動の実施を一人ひとりが強く心にとめることが求められます。

当センター7年度の事故例

- 掃除機での清掃中、掃除機のホースに足を引っ掛け転倒し右手親指の付け根から手首を打ち損傷した。スリッパをはいての就業であったため靴を履くように指導。
- 草取り作業で草の中にいたアシナガ蜂に指を刺された。作業前に現場確認を行うこと。
- 草刈り機を使用中、小石を飛ばして駐車中の車両の後部を破損させた。防護処置はしていなかった。防護ネットを使用すると共に周囲の確認もするように指導。
- 就業場所から自転車で帰宅中、後方から来た車両と接触し転倒しケガをした。狭い道路は車に注意して走行すること。
- 駐車場整理中躓き転倒し右肩を脱臼した。作業前や作業中に足元を確認し十分注意すること。
- 個人宅の庭にあった浄化槽のフタを踏んでしまい、フタが割れ、危うく脚もはまる危険な状態となった。マンホールのフタには安易に乗らないよう十分注意すること。

会員の文芸

俳句

(今伊勢) 八谷博次

彼岸花 紅と白との 舞踏会

コオロギの 鳴き声聞いて 秋を知る

川柳

(木曾川) 桐田恵行

この暑さ責任ないぜプーチンさん

低津波アリニューシヤンプーチンまでは届かず

(大和) 越野高光

野党の力良いもの見せてくれるかな

ススキ揺れ虫の音聴こえそんな夕暮れ

老いた身の残りの人生暗中模索

(西成) 澤田良晴

夏の夜は怪談よりも冬の歌

食事より麦酒飲みたい酷暑の日

なぜ起こる飢人無差別殺りくが

シルバー会員手帳幹旋のお知らせ

申込書は本部・支部窓口もしくは、配分金明細書に同封してありますので購入希望の方は申込書に現金200円を添えて、9月30日(火)までに提出して下さい。



各種教室の参加会員を募集!!

特に書を楽しむ会の教室参加者を募集しています。

その他にも**絵画・囲碁教室**を開講しています。和気あいあいと楽しませんか、興味のある方は是非、事務局71-0105までご連絡ください。



ことば歳時記(長月)

◎馬肥ゆ(うまこゆ)

秋の好日のもと、馬がすこやかに肥えてたくましくなること。冬に備えて皮下脂肪を蓄えるのである。「天高く馬肥ゆ」の故事にもとづく。

◎若煙草(わかたばこ)

秋、収穫されたばかりの煙草の葉をいう。これを掛け干しにしてよく乾かし、煙草を製する。

◎秋の鵜飼(あきのうかい)

立秋以降の鵜飼をいう。鵜飼で有名な長良川では、十月十五日まで続けられる。

◎うそ寒(うそさむ)

秋半ばから晩秋にかけての、うすら寒い感じのこと。「うそ」は「薄」を意味する。やや寒、そぞろ寒と似たような寒さではあっても、気分的な違いがある。